

KQ-0600_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・京急旧600形
・京急1000形試作車
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)

⚠️【注意】

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ヘッドライトユニット : 1個/セット
- ・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット
- ・テールライトレンズ : 2個/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】






- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・ボリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

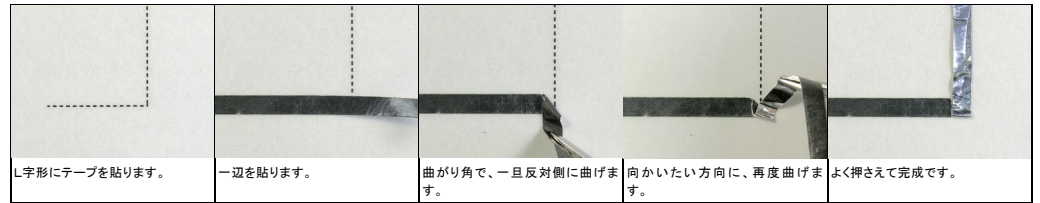
1. 分解する				
1-1 床板を外す	1-2 バンタグラフを外す	1-3 屋根を外す	1-4 側窓を外す	1-5 前面透明パーツ外す
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	バンタグラフは、楊枝などで内側から押し外します。	天井面サイドのツメを楊枝などで押し、屋根を外します。	側窓を外します。前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。連結面のガラスが外れますので、粉失ないように注意します。	前面透明パーツは、尾灯の腕の部分を精密ドライバなどでコジって外します。
2. 車体を加工する		3a. 床板を加工する		3b. 動力ユニットの加工
2-1 前面透明パーツの加工		(トレーラー車の場合)		(動力ユニットを組込む場合)
				
前面窓の直上・直下で切り取り、3分割します。さらに、ヘッドライトは、腕の中央で切断します。尾灯部分は使用しないので保管します。	側窓上部の斜めの部分を、1つ目の側窓の中程まで、四角く切り取ります。	床板前部の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前部の幅が広がっている部分(約2mm)をカットします。	動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。
4. ライトユニットを取り付ける				
(3bつづき)	4-1 ボディの遮光(その1)	4-2 屋根をはめる	4-3 ヘッドライトレンズの取付	4-4 ボディの遮光(その2)
				
動力ユニットのフレームのうち、前項で切り欠いたスペーサーからはみ出る部分を削り取ります。	ヘッドライト周辺、テールライト周辺、及び各レンズの穴の中に、黒又は銀の塗料を塗ります。2〜3度塗り重ね、光にかざして、塗りムラのないことを確認します。	屋根をはめます。	ヘッドライトレンズを取り付け、木工用ボンドを塗って固定します。	1mm×6mmのボリエステルテープを用意し、ヘッドライトレンズの溝から、屋根のツメにかけて、縦方向に貼ります。
(4-4つづき)	4-5 ヘッドライトユニットをと取り付け、遮光する			
				
1mm×6mmのボリエステルテープを用意し、前項のテープと直角に交わるように、屋根のツメの前側に接して、横方向に貼ります	3mm×8mmのボリエステルテープを2枚用意し、屋根のツメの両側、屋根とボディの境目に貼ります。	天井裏への光漏れを防ぐために、6mm×15.5mmのボリエステルテープを用意し、天井とボディを結び、前項までのテープのすべを覆うように、貼ります。	ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。この段階で点灯テストを行い、光漏れのないことを確認します。	3mm×10mmのボリエステルテープを、基板と妻面の間に貼ります。

		4-6 前面窓ガラスをはめる	4-7 テールライトユニットを取り付ける		
					
次いで、3mm×6mmのポリエステルテープを2枚用意します。前項の左右、ライトユニットのツバと妻面、乗務員室扉上の間に貼ります。		更に、3mm×6mmのポリエステルテープを2枚用意します。ライトユニットのツバと乗務員室扉上の間に貼ります。	前面窓ガラスをはめ、両面テープで固定します。		
			テールライトレンズをはめ、両面テープで固定します。		
			テールライトユニットを、両面テープで固定します。		

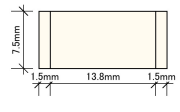


5. 配線する				
5-1 側窓をはめる	5-2 ヘッドライトへ配線する		5-3 テールライトへ配線する	
				
側窓をはめます。必要に応じて、両面テープで固定します。	1.5mm×約35mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。		給電パッドの通電の確実を期して、3mm×5mmのアルミテープを重ね貼ります。 1.5mm×14mmのアルミテープで、側窓下部からテールライトの給電パッドまで配線します。 給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×4.5mmのアルミテープを重ね貼ります。	
	※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	

5-4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る	5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ			
				
床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体根に接するように貼ります。車体の四隅の嵌合部に貼ります。	この項目は、室内灯を取り付ける場合は、室内灯を取り付けた後に、作業します。 3mm×98mmのアルミテープを2本用意し、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。			

●テープを折り曲げながら貼る



●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
乗務員室仕切り型紙 		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の後側に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。

